

ポスト  
コロナ

# 変えよう。 今度こそ!!

新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの社会、政治の脆弱性と問題点を明確な形で突き付けました。自公政権の新自由主義路線＝「自己責任」や「効率」、「小さな政府」＝ではコロナ危機に対応できないことがはっきりしました。

ポストコロナ社会と政治は、自己責任論社会から「互いに支え合う社会」へ、目先の効率性にとらわれた経済から「未来志向の分散型経済」へ、小さな行政・政府不信から「信頼できる機能する政府」へと大きく転換していかねばなりません。

## 「池田まきの5つの政策！」

### 1 いのちを守る 危機管理の徹底

「危機管理体制」の強化、科学的コロナ対策の強化で感染症の早期収束、「防災・減災」対策の強化

### 2 暮らしを守る 経済・雇用対策

分散型経済、消費税の引き下げ、人間らしい働き方、医療・介護・教育などベーシックサービスの拡充

### 3 人の尊厳を守る 多様性ある社会

偏見・差別の解消、チルドレン・ファースト、選択的夫婦別姓、LGBT法定など「ジェンダー平等」推進

### 4 分権改革、地域のタカラを地域のチカラに

「分権」の推進、「食」の安全、観光産業の立て直し・振興、原発に依存しない「クリーン・エネルギー」の推進

### 5 政治の信頼 立憲主義、民主主義を取り戻す

利権・しがらみ政治との決別、「情報公開」、法令順守、説明責任、「憲法を活かす」平和外交・安全保障

## 池田まきプロフィール

- 1972年5月24日生まれ。双子座、O型。札幌市厚別区在住。
- シングルマザーとして二人の子どもを育てた。
- 介護、福祉の仕事をしながら、ヘルパー1級、社会福祉主事、介護支援専門員、**社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士**、防災士などの資格を取得。
- 1997年東京都板橋区に採用。14年間福祉事務所で勤めた。“6つの資格をもつケースワーカー”として紹介される。高齢・障害・児童・ひとり親・生活保護などの福祉行政に従事。
- 2011年北海道に移住。フリーソーシャルワーカー、内閣官房地域活性化伝道師として、被災者支援はじめ福祉と地域活性、まちづくりなどに取り組む。
- 2015年3月北海道大学公共政策大学院を修了。
- 2016年4月「市民の会」などからの要請を受け、全国初の市民と野党の共闘候補として衆院北海道5区補欠選挙に無所属で出馬するも惜敗。
- 2017年10月第48回総選挙で初当選（比例北海道）。得票数は女性候補の中で全国1位。
- 2017年から厚労委員、環境委員を経て現在、法務委員、決算行政監視委員、災害対策特別委員、党政調会長補佐、災害・緊急事態局事務局長。



- 趣味：温泉、山菜とり、釣り、バレーボール
- 好きな食べ物：山菜（特に道産タケノコ）、生鮮魚介類、道産米、チーズ



RIKKEN  
MINSHU 号外

2021年7月30日 北海道第5区版

■立憲民主編集部  
〒102-0093 東京都千代田区平河町  
2-12-4 ふじビル3F  
Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302  
goiken@cdp-japan.net  
https://cdp-japan.jp/

北海道事務所  
〒004-0053  
北海道札幌市厚別区厚別中央3条1丁目12-5  
クレストコート厚別102号  
TEL.011-807-5300 FAX.011-807-5522  
HP: <http://ikemaki.jp/>

国会事務所  
〒100-8982  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館 415号室  
TEL.03-3508-7008 FAX.03-3508-3808



HP: <http://ikemaki.jp/>

池田まき公式サイト

検索



すべての人に安心と笑顔を

社会福祉士  
介護福祉士  
精神保健福祉士

# 池田まき

衆議院北海道第5区版

札幌市厚別区・江別市・千歳市・恵庭市  
北広島市・石狩市・当別町・新篠津村